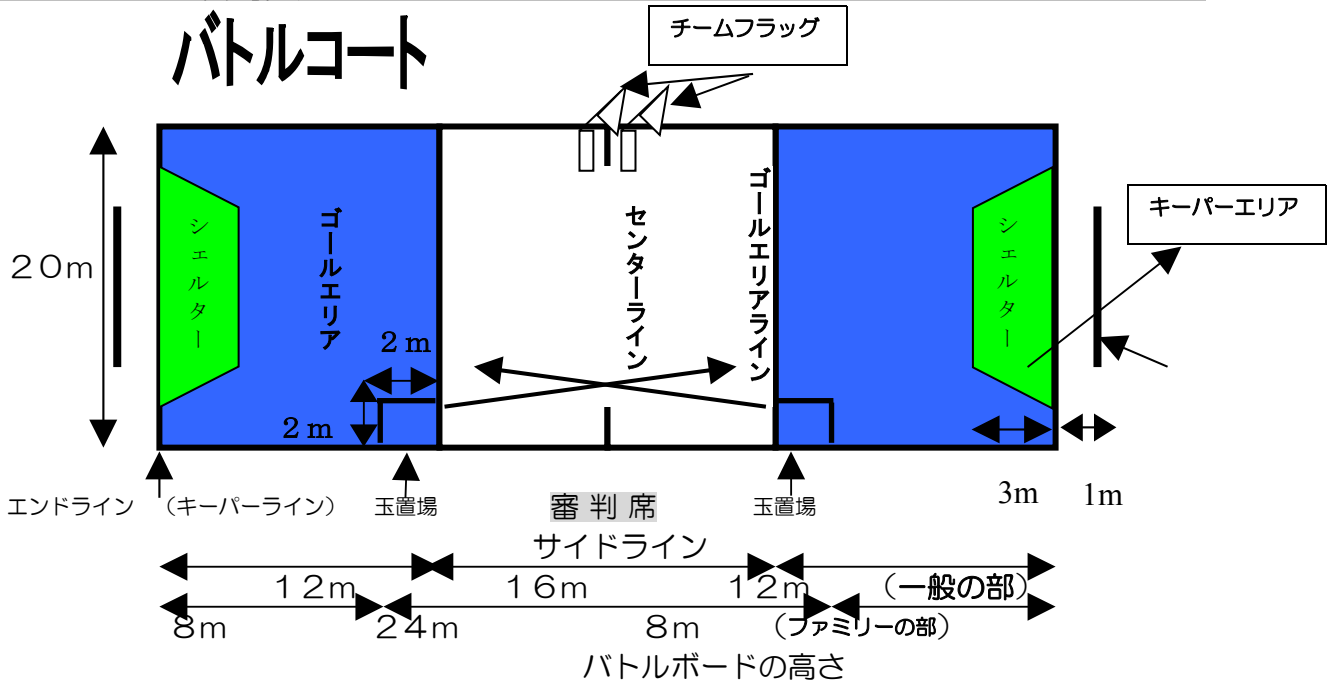


# スノーバトルinきたあいづ2010実施要項

テーマ 雪と遊び、雪国の生活を楽しみ、新しい友との出会い、ふれあいを大切にする。

- 1 日時 平成22年1月31日(日) 午前8時30分開会
- 2 会場 『ホテルの森公園』 福島県会津若松市北会津町下荒井字矢倉林1番地
- 3 主催 ふるさとスポーツイベント実行委員会
- 4 共催 会津若松市教育委員会
- 5 後援 (株)福島民報社・福島民友新聞(株)・福島テレビ(株)・(株)福島放送(株)福島中央テレビ・(株)テレビユー福島・NHK福島放送局・大塚製薬(株)ラジオ福島・(株)エフエム会津・(株)ふくしまFM・花春酒造(株)末廣酒造(株)・JAあいづ・北会津商工会・(有)バンダイススポーツ企業組合ぴかりん村・小森ぶどう園・会津若松市公園緑地協会
- 6 日程 8:00～8:25 受付  
8:30～8:45 開会式  
8:50～9:00 監督者会議  
9:00～ 予選リーグ戦開始  
13:10～ 決勝トーナメント戦開始  
14:50～15:10 閉会式(表彰式)  
※ストラックアウトコンテスト(予選リーグ戦終了後、コート内にて行う)
- 7 登録チーム 参加資格は小学生以上とし、国籍、性別は問わない。  
◇一般の部 32チーム(1チーム6名編成、控え2名)  
◇ファミリーの部 32チーム(1チーム6名編成、控え2名)  
(小学生を5人以上入れチーム編成を行うこと。ただし、大人が入る場合はキーパーのみとします。)  
※選手登録の際に控え選手も含め、極力8名で登録してください。
- 8 締め切り 平成22年1月22日(金) 北会津公民館必着
- 9 参加費 1チーム2,000円(当日受付の際に申し受けます。)  
(傷害保険料を含みます。参加賞あり)
- 10 表彰等 ◇表彰 各部門ごとに1位～3位、ベストファイト賞、ベストファミリー賞、ピカリン賞、ベストフラッグ賞、よぐ来らったで賞、ブービー賞  
実行委員長特別賞 ほか  
◇賞品 表彰状、優勝カップ(持ち回り)のほか、北会津産ワイン、いちごをはじめ地元特産品の数々を用意。
- 11 その他 ◇参加チームは、チームフラッグ(縦 50cm×横 70cm)を各チーム作成の上、持参してください。(サイズ厳守にてお願いします。)  
フラッグをポールに取り付けられるように2ヶ所にひもをつけてください。  
◇ヘルメット・バトルミット・ポールについては主催者側で準備いたします。  
◇大会会場内で発生した事故等について、一部責任を負いかねる場合がありますのであらかじめご了承ください。  
◇予選リーグ戦の組み合わせについては、実行委員長・競技委員長立ち会いのもと、あらかじめ組み合わせ抽選をさせていただきます。

# バトルコート



- ◆一般の部 1. 8m
- ◆ファミリーの部 1. 8m

(基本)

スノーバトル大会の競技場（バトルコート）は上図の形式により、1チーム6人で構成し、2チームの対戦形式で行う。

縦40m、横20mのバトルコートの両サイドに雪玉が当たると倒れるバトルボードを5枚ずつ設置し、相手陣営のパネルを攻撃し、いち早く5枚のボードを倒し、コート中央に立ててある相手のチームフラッグを奪い取ることをとする。

詳しくは、下記のとおりとする。

### 【附則】

一般の部で女性（ゴールキーパーは男性可）のみでチームを編成する場合は、ゴールエリアラインをファミリーの部と同様に8mラインとする。

## 雪玉について

- (1) 1チームが1セットに使用できる玉数は45個とする。
- (2) 雪玉については、雪玉製造係が雪玉製造器を用いて作った雪玉を使用すること。  
雪玉は選手集合所で各種防具（ヘルメット等）と一緒に受け取ること。

## チーム編成について

下記のとおりチーム編成を行うものとする。

- (1) 監督は選手を兼ねることができる。
- (2) 試合中のけが等により控え選手も含め欠員が生じた場合は、欠員を補充せず試合をおこなうものとする。

	選手（うち1人監督）	控え選手	その他
一般の部	6名	2名	
ファミリーの部	6名	2名	小学生を5人以上入れ、チーム編成を行うこと。ただし、大人が入る場合は（キーパー）のみとする。

## 競技の方法（進め方）について

- (1) 選手は片手にバトルミット（以下「ミット」という）を持ち、ゴールエリアラインより相手陣営のバトルボード（以下「ボード」という）をめがけて雪玉を投げ、いち早く5枚のボードを倒し、バトルコート中央にある**相手チームフラッグを奪い取る。**  
キーパーは両手にミットを持ち、ボードが倒れないように相手攻撃から守る。
- (2) **雪玉（45個）**がなくなった場合は**全員ディフェンス**にまわる。
- (3) キーパーはゴールエリアライン（キーパーライン）より前で守り、ゴールエリア外に出ることはできない。**（キーパー以外は、キーパーエリア内でプレーしてはいけない）**
- (4) 選手は、相手のゴールエリアラインを踏んだり、エリア内に入りプレーすることはできない。
- (5) セット途中でのメンバー変更・タイムアウトは認めない。
- (6) 競技時間は**《予選》3分1セット**  
**《準決勝・決勝》3分3セット（2セット先取で試合終了）**
- (7) 《予選》ブロックリーグ戦、《決勝》トーナメント戦とする。
- (8) 予選は、ブロックリーグ戦とし、各ブロック上位のチームが決勝に進出する。

## 勝敗の決定について

### 《予選リーグ》

- (1) 試合は相手チームの5枚のボードを倒し、先にフラッグを奪い取ったチームを勝者とし、試合時間内であっても試合終了とする。
- (2) 試合制限時間内に全てのボードを倒せなかった場合は、倒したボードの枚数の多いチームの勝ちとする。
- (3) 試合制限時間に達しても勝敗が決しない（同点）の場合は引き分けとする。
- (4) 勝ち3点、負け0点、引き分けを1点とし、各ブロックの上位チームを決勝トーナメントへ進出させる。

### 《決勝トーナメント》

- (1) 勝敗の決定は予選リーグと同じ。ただし、試合制限時間に達しても勝敗が決しない（同点）場合は、選手6人によるPT（ペナルティースロー）合戦で勝敗を決定する。PT合戦においても決しない場合は両チームの代表者によるジャンケンとする。
- (2) 準決勝・決勝は3分3セット（2セット先取）。3セット目に突入する場合はチーム代表者によるジャンケンでコートの選択権を得る。
- (3) 3位決定戦は行わない。

## 反則行為について

※次の行為等を行うと反則とみなし、選手は退場となる。

- (1) **試合中に雪玉を新たに作ったり、落とした雪玉を再度使用するの**は反則である。
- (2) 競技中に相手チームの選手に乱暴な行為等を行った場合は反則である。
- (3) ゴールエリアライン、サイドライン、エンドライン（キーパーライン）を踏んだ場合は反則である。
- (4) 特に悪質なルール違反と判断した場合、審判員はその選手を退場にすることができる。

## 用具・コスチューム等について

《服装》手袋を着用し、服装は自由とするが防寒着が望ましい。

《装備品》主催者側で用意。

☆ 選手は必ずヘルメットを着用する。キーパーのみ顔面を保護するためのガード付きヘルメットを着用する。

☆ ミットについては、選手は（片手）、キーパーは（両手）を着用する。

《ゼッケン》主催者側で用意。

☆ 選手はゼッケン（1番～8番）を着用する。